

# TUMUGUBA VI 銀座のミライ を語るう



「TUMUGUBA」は2023年9月にスタートし、セミナーや見学会などを繰り返してきました。第5回は本町、第6回は銀座をテーマに、一宮のまちなかの未来を、一宮のまちなかに想いを寄せる人たちで話し合います。

1886年には尾張一宮駅が、1900年には名鉄の一宮駅が開業。1949年にはロータリー(ラウンドアバウト)が作られ、道路の付け替えなどを経て、駅前にある銀座通りには大きな商業性が形作られました。飲食店も増えましたが、閉じたシャッターも目立ちます。近年は、まちなかの未来の検討や社会実験としての具体的な作業が、行政と市民の協働も含めて実施されるようになりました。

「TUMUGUBA VI 銀座のミライを語るう」は、銀座通りをテーマに未来への議論をさらに深めていくワークショップ、話し合いの場です。お気軽に是非ご参加ください。

- 日時: 2024年1月11日(木) 18:00~20:00(予定)
- 会場: オリナス一宮 3階 会議室にて
- 定員: 20名程度(無料)
- 内容: 最近のまちなか、とりわけ銀座通り近辺の取り組みを紹介し  
銀座通りの未来像について気軽に話し合います。
- 主催: 一宮まちなか未来会議 運営: 一宮まちなか未来会議 公共空間部会



★参加申込は右コードか、<https://machinaka.net> からお願いします。(お問合せも同ページより。)

\* 2月下旬頃には「(仮)まちなかシンポ」が開催予定です。